

量差线划

第28号

平成25年2月1日

発行:東吾妻町議会



事故防止に向け 交通指導員が初出動

12月定例会

特別養護老人ホームの設置管理の 改正条例などを可決……P2 「中学校統合の不安にどう応えるか」など 5議員が一般質問……P6

中学校統合等対策特別委員会の設置などを可決 人ホ ームの設置管理 の改正条例

で開催しました。 日までの12日間の日程 会を、12月7日から18 平成24年第4回定例 今定例会では、町長

原案どおり可決(議案 件、議案12件を審議し、 から提出された承認1 承認案件を含む12件を

> *t*= 案のとおり可決しまし 審議され、いずれも原 委員会提出の議案4件 議員提出の議案1件が 件は否決)。また、

が登壇し、町政をただ しました。 一般質問では、5人

指定管理者による運営を視野に

いわびつ荘の設置管理条例を改正

るが。 町長 検討、 協議を重 向に進んでいきたい。 ねながら、より良き方

施設の運営のあり方を検討しているいわびつ荘



議員 によって、少しでも財 来の意味と考える。 政(町民)負担を軽減 指定管理者による運営 要な施設ではあるが、 したいということが本 町民にとって必

分説明してほしい。 してもらえるよう、十 それらのことを理解 介護サービスの

> 理解してもらえるよう にしていきた 充実という課題もあり、

あるが。 どを考えると、民間 議員 施設の老朽化な 売却も選択肢として

検討の中で協議してい 町長 今後のあり方の

統合問題などを集中して調査 中学校統合等対策特別委員会を設置

議の結果、 等対策特別委員会設置 案された、中学校統合 可決となりました。 審議するために議員提 に関する決議案は、 同委員会では、中学 町の重要課題を慎重 賛成多数で

> 場の建設に関連する諸 校の統合や、 問題について調査をし ていくことになります。 委員は議長を除く13 給食調

人の議員で構成します。 委員長 副委員長 山田信行 茂木恒二

2

る管理運営体制が可能 施設の運営などのあり 方について検討してい このような状況を踏 指定管理者によ いわびつ荘にお 面 【質疑】

いわびつ荘は、今後の 特別養護老人ホーム したものです。

となるよう条例を改正

してもらいたいと考え が、今後、具体的に動 などを申し上げてきた 設の運営について意見 議員 議会としても施 き出すときは、様々な において、万全を期

国保税の引き上げに待った 国民健康保険税の改正条例を否決

案されましたが、賛成 率を引き上げる案が提 ら国民健康保険税の税 るため、平成25年度か 増え続ける保険給付費 医療費が増加しており、 者の高齢化などにより 少数で否決となりまし に見合う財源を確保す 医療の高度化や加入 町長 町 長 議員 理解を得られるのか。 もある。 町 長 容ではないか。 解を得られるよう努力 率アップは、 層の家計を直撃する内

したい。

十分説明し、理

計画との整合性が保た

今回の改正内容では、

も高い水準になると思 と、負担割合が県内で 提案内容を見る 間違いないか。

たり、

安定的で持続可

民健康保険を将来にわ

町では現在、

玉

低·中間所得者 間違いない。 策定している。 25年度から29年度) 康保険事業運営安定化 (計画期間は平成

いる。 として位置づけられて 事業の独立採算の な税負担の緩和が方針 それによると、 計画期間中の急激 原則 国保

そのような状況

突然の大幅な税

加入者の

と思うが。 れていない。 を改正することが順序 計画に基づいて、 税

町長 今回の税率改正

な制度として維持し 国民健 税のデータがそろって 議員 きたことであり、 とは別に計画は考えて 現時点では、

課

で改正することが、 実で効果的な方法とは いない。 それがそろった時点 確

町長 それは一つの え方と思う。

との整合性の確保や い時期に、 なくてはならない現状 提案するのか理解でき 確実な課税データのな にあるのは理解できる しかし、なぜ、計画 税率を引き上げ 税率改正を

引き上げは必要である。 行するために、 この機会に理解願い 計画を適正に執

【反対討論

12月定例会

げは、 国保税の急激な値上 加入者の生活の 金澤敏議員

> 根本を壊すことになる。 国保事業の財源問題

理解

足りない。 などを議論する時間が 必 条例改正することには

営安定化計画案を基に 要であり、 議論することが 現時点で

国民健康保険事業運 反対である。

暴力団排除に向け条例を制定

るため、条例において、 基本的な施策を定める の不当な影響を排除す 町の責務や

暴力団による生活 明らかにしており、 町 ことを目指しています。 らせる社会を確立する 民が安全に安心して暮 民の協力活動などを 町

総合計画の後期基本計画を策定

基本方針と施策の大綱 おり、 を位置づけています。 それを実現するための 理念を示すとともに、 像とまちづくりの基本 施計画から構成されて 本構想、 町の総合計画は、 基本構想は将来 基本計画、 実

間となります。

年度から29年度の5年

画期間は、

平成 25

方向と体系を明らかに 基本構想を実現するた めの各行政分野で取り 今回策定の計画は 施策の基本



総額8億8550万5千円に 般会計補正予算

農地

農業用

公共下水道及び

都

み

なさんからの請願

陳

情

害復旧費などで

増 施

額

04万2千円 歳入歳出それぞれ11 議員選挙に伴う執行経 分されていた第3号の 般会計補正予算は、 1361万8千円と 11 を追加し、 月19日付で専決処 承認とな (衆議院 総額 81 りました。

円としました。 額 般会計補正予算は 歳出の主な項目 入歳出それぞれ71 81億8550 方 5 は

障害児者自立支援費 88万7千円を追加し、 歳 また、第4号となる

県の支出金、 老人福祉費、 などを充てています。 〔歳入〕として、 などで減 額 地方交付 職

そ の 他 の議案

る条例の廃止 設置及び管理に関す 在宅介護支援センタ

 \mathcal{O}

員 国や 財源 人件 整備組合の共同 吾妻広域町 の構造並びに維 処

部改正 0

る事務の変更及び規約 持管理に関する技術上 ■議会委員会条例の の変更に関する協議 基準に関する条例 |村圏振興 理す

改正 ■議会会議規則

で審査)

一般会計補正予算(主なもの)

基盤整備を進めている萩生川西地区

補

正

7,188万円

1,795万円

597万円

532万円

補正予算

額

70万円

予

る陳情書 算の継続

提出者

馬県医

療

猪上輝

雄

動

セ 出

ン

タ

]

代

算

総 額

81億8,550万円

2億2,399万円

1億4,272万円

6億2,503万円

5,555万円

障害福祉サービス給付費(追加) 萩生川西地区基盤整備事業(追加) 農業用施設災害復旧工事請負費(追加) 太陽光発電システム設置補助金(追加) 有害鳥獣捕獲事業補助金(追加) 職員人件費(減額) いわびつ荘運営事業特別会計繰出金(減額)

平成24年度

計

名

会

計

特別養護老人ホームいわびつ荘

運営事業特別会計

地域開発事業特別会計

下水道事業特別会計

簡易水道特別会計

会

般

2,800万円 3,082万円 360万円 200万円 112万円 890万円 △1,205万円

◎介護職員処遇改善加

拡充を求め

提

者

馬県平和

る陳情書

改善・大幅増員を求め 介護実現のための夜勤 ◎安心・安全の医療

意見書を提出

議会では、次の意見書を提出 しました。

- ◎安心・安全の医療・介護実現 のための夜勤改善・大幅増員を 求める意見書
- ◎介護職員処遇改善加算の継続。 拡充を求める意見書

労働大臣、財務大臣、文部科学 大臣、総務大臣、群馬県知事

【提出先】内閣総理大臣、厚生

陳情を審査しました。 審査の結果が本会議 今定例会では、 4

> 委員 労働

長 組

石関貞夫

合連合会執

行

で報告され、 に決まりました。 次のよう

採択となりました (文教厚生常任委員会

訓 練の中止を求める意 イ沖縄配備と飛行 垂直離着陸機オス

0

採択に関する陳

で審査

見書」 「脱原発を求める意 採択に関する陳

継続審査となりま 総務建設常任委員会

4

議案などの審議結果

	Ш	払	賛	Ħ	業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		議
議案名等 議員名簿	一席者	票	貝	IX.	職 決 結		佐藤		樹下	田田	水出	載	茂木			須崎		一場	橋爪	決
	数	数	成	対		光重	聡一	光儀	啓示		英治	德三	恒二	敏		幸一		明夫		日
第4回定例会 平成24年12月7日~18日																				
専決処分の承認(平成24年度一般会計補正予算 第3号)	14	-	13	0	可	-	0	0	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	12/7
暴力団排除条例	14	-	13	0	可	-	0	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	12/17
特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の全部改正	14	-	13	0	可	-	0	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\circ	0	0	0	0	0	0	0	12/17
在宅介護支援センターの設置及び管理に関する条例の廃止	14	_	13	0	可	-	Ō	0	$\overline{\bigcirc}$	0	$\overline{\bigcirc}$	0	O	Ō	0	0	0	0	0	12/17
国民健康保険税条例の一部改正	14	-	6	7	否	-	0	0	0	X	0	X	X	X	0	0	×	X	X	12/17
公共下水道及び都市下水路の構造並びに維持管理に関する技術上の 基準に関する条例	14	ı	13	0	可	-	0	0	\bigcirc	\bigcirc	\circ	\circ	0	0	0	0	0	0	0	12/17
平成24年度一般会計補正予算 第4号	14	-	13	0	可	-	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	0	0	0	0	\bigcirc	12/17
平成24年度特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計補正予算 第2号	14	ı	13	0	可	-	0	0	\circ	\circ	0	\circ	0	0	0	0	0	0	0	12/17
平成24年度地域開発事業特別会計補正予算 第1号	14	-	13	0	可	-	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	0	0	0	0	0	12/17
平成24年度下水道事業特別会計補正予算 第3号	14	-	13	0	可	-	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	0	\bigcirc	0	0	0	0	\circ	12/17
平成24年度簡易水道特別会計補正予算 第2号	14	1	13	0	可	-	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	\bigcirc	0	0	0	0	12/17
第1次総合計画後期基本計画	14	-	13	0	可	-	0	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	\bigcirc	0	\bigcirc	0	\bigcirc	12/17
吾妻広域町村圏振興整備組合の共同処理する事務の変更及び規約の 変更に関する協議	14	-	13	0	可	-	0	0	\circ	0	0	\circ	0	0	0	0	0	0	0	12/17
安心・安全の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情 書(採択)	14	-	13	0	可	-	0	0	\circ	0	0	\circ	0	0	0	0	0	0	0	12/17
介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書(採択)	14	-	13	0	可	-	0	0	0	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12/17
安心・安全の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見 書	14	-	13	0	可	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12/17
介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書	14	-	13	0	可	-	0	0	0	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12/17
議会委員会条例の一部改正	14	-	13	0	可	-	0	0	0	\bigcirc	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12/7
議会会議規則の一部改正	14	-	13	0	可	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12/7
中学校統合等対策特別委員会の設置に関する決議	14	-	7	6	可	-	×	X	X	0	×	0	0	0	X	×	0	0	0	12/17

可···可決、否···否決、〇···賛成、×···反対、欠···欠席、退···退席

あの請願・陳情はどうなった?

町(執行部)より採択された請願、陳情の処理状況が報告されました。

内	容	処 理 状	況
太田幼稚園駐車場の舗	装に関する陳情	平成18年12月採択	未決
町道3005号線(本宿上)	の原)舗装工事のお願い	平成21年 9月採択	処 理 中
旧坂上診療所を改修して ス)として活用するこ	て新たな通所介護施設(デイサービと	平成21年 9月採択	未決
坂上地区のバス運行に	関する陳情	平成22年12月採択	処 理 中
町道程岩・堂ヶ沢線改	修工事を求める陳情	平成22年12月採択	処 理 中
町道1281号 (程岩)線	改良工事を求める陳情	平成22年12月採択	処 理 中
請願 公衆用道路の拡	幅改良について	平成23年 6月採択	処 理 中
道路改良に関する請願	(内野山田川線)	平成23年 6月採択	処 理 中
陳情 町道鳩の湯線の	拡幅改良について	平成23年 6月採択	処 理 中
中学校統合の再検討に	関する陳情	平成24年 9月採択	処 理 中

議長は採決にかかませんので「-」で表示しています。(議長 1番 菅谷光重)

^{※・・・}地方自治法第117条により、本人除斥。

政系問

議員の意見などから総

合的に判断した。

れたことと、各地区で 見直しの陳情が採択さ

の住民説明会の様子、

きと考えているか。 備期間に何を解決すべ たが、その理由と、準 を目途とすると発表し 延期し、平成27年4月

9月定例会で統合

金澤敏議員

者が多く平均所得が低 いことと、 い構造的な問題がある。 いては、 国民健康保険に 年齢構成が高 非正規労働 0

する理解をいただくこ 年4月としたことに対 統合と、それを平成27 らないことは、 とだと考えている。 今一番しなければな 統合までのステッ 中学校

Q

中学校統合を1年

していかなければなら 学問題、心の問題の3 ないであろうが、 つのことを町民に説明 ブとして資金計画、 保護 通

ちのストレス対策は、 く道であると思うが。 は限界があるので、 配置された教師だけで

を予防し、解決して行

登校の問題がある。 なものに、いじめや不 者などから寄せられて いる漠たる不安の大き 人権教育に真剣に取

り組むことが、それら 統合による子供た

町

く。 費による支援員やカウ アップ体制を実施して ンセラーによるバック

トレス解決に向け方策 も参画していく形でス け、人権学習プログラ をとっていく。 ムを立ち上げ、 平成27年の統合に向 P T A

「学校などの除染は」

子供の生活圏の放

方

Z

0

中学校統合の不安にどう応えるか

いじめや不登校を防ぐため

権学習プログラムを立ち上げていく

定例会で約束したがど

底的に行うことを9

能除染は、

面的に

徹

根津光儀議員

ては、 測されていない。 ポット的に除染を実施 るところもあるのでス ク 染を行うべき数値 うなっているか。 定点観測では、 ロシーベルトを超え ていく。 しかし、場所によっ 学校などにおける 毎時 0・23マイ 面的除 ...が観

国保税減免制度の周知徹底 充実を や

納税相談の中

で適

切に対応

にはいかない。 したことは見過ごす訳 基本的な考えは。 急激な値上げを目指 国民すべてが、 1

と負担が、 度を維持し、 ができる国民皆保険制 して医療を受けること つでも、どこでも安心 国民にとっ その給付

とが必要となる。 保険税負担能力が低い に比べ高齢者が多く、 て公平な制度であるこ しかし、被用者保険

\ \ \ 問題は解消されていな が施行された今日でも、 なっていることなどか 運営が厳しい状況とな っている。 なお、 後期高齢者医療制 医療費は高く財政 加 前 入割合が高 年度1

度

たりの保険税は約9万 人あ ▲原町市街地のまちづくりはどうなって行くのか(役場前)

用し、 のり、 その制度を積極的に適 に立って国保税の改定 ることが重要と考える 人には、 をすべきで、 長期的、 減免制度の拡充や 生活実態を把握 親身に相談に 総合的 払えない 拡充を図 視点

になり、

激変緩和措置

生活の本体を壊すこと

極端な値上げ

は

計からの繰り入れも議

も考えるべき。

一般会

均より1万円ほど下

回 平

で、

県内市

町

村

0

っている。

を差し引いた分が、 0 に決められ、 保険税の 決め

受診者が支払う一部負 予想される医療費から 険税全体の額として先 担金と国・県の補助金 方は、 保

額を所得割、 その全体 資産割

り振って決められる。 平等割の応益負担に割 の応能負担と均等 低所得者世帯の負担

規定されているので、 割額を減額する措置が 者均等割額または平等 務者に対して、 能力を考慮し、 被保険 納税義

切に判断している。 税相 談 の中で、 条例

実現を目指していく。 る制度として、 すべての国民に共通す や法に照らし合わせ適 険 制度の一本化の早期 公的医療保険制度を 医療保

都 市計画と市 全体のまちづくりをしていく 街 一地の再開発について



-場明夫議員

Q 町としての対応は。 効果があると思われる。 興や経済の発展に大変 信自動車道 ると思うが、その時期 形が確定するのは、整 区間に格上げ後とな 上信自動車道の線 計画されている上 は、 地域振

> や地域住民と協働し、 駅南まちづくり連絡会 ターをつくり、原町駅 予定。また、川戸イン 路の見直しを計画する をしていきたい。 地域全体のまちづくり へのアクセスを計る。

て、 すため、イベントコミ 間 開催されているが、民 ッションを設立しては ン組織について」 「イベントコミッショ の活力を最大限活か 各種のイベントが 現在、町内におい

都市計画道

いて、 どうか。 イベント運営に

ち上げ、スタッフの 連合への加盟を」 とも併せ検討していく。 効果的な行政の推進や、 保など大変なことと思 住民の行政参画の推進 われる。今後、効率的、 「日本で最も美しい村 実行委員会の立 確 お

ている。そこで、地域 近く、豊かな自然が残っ 当町は、首都圏に

> どうか。 で最も美し 地域活性化を図っては に加盟し、 観光振興や い村連合」

的にして

いる

日本

分検討していきたい。 せるかを含め、 とってどのように生か を参考にし、この町に ついては、 同連合 先進地事例 への加盟に 今後十

7

発展に寄与することを

資源の保護や、

▲奥田社会体育館 るよう、調整会議を行 友情を育んでいる。 動などの文化活動を通 場所が公平に使用でき た地域の人と触れ合い し、今まで交流のなかっ づくりをさらに続けて 文化、 これらの活動を支援 グループを支援し、町の活性を 体育館などの活動 参加しやすい環境 趣味、サークル活 使用団体からの声 | 町民の要望に配慮していきたい

Q ることが必要である。 町民の理解と協力を得 実施するにあたり、 施策の方針を決定

須崎幸一議員

町政運営の大切なことは どのような手法を用 町民参加と共通認識

えるか。 な情報発信に努め、 ついて、工夫し効果的 情報提供の手法に 町

めとした意見公募手続 (ブリックコメント 町政懇談会をはじ

加を基本姿勢にして、 民との丁寧な対話と参 まちづくりを進めたい。

いることが最善だと考

携をした広域行政を考 ために、どのような連 率的な行政運営を図る 充実したものにしたい。 および広聴制度などを 財政の健全化や効

みなさんの参加をお願 に掲載しているので、 れるよう配慮している。 を聞き、要望に応えら 活動に関して広報誌

いしたい。

始めている団体が多く やりたいという声が上 がり、自主的に活動を た人たちから、続けて 「町民大学の設立を」 教養講座に参加し 学を提案する。

ように車の手配など、

見られる。

のもの、団体のワーク の中に、金井廃寺のあっ ショップであった。そ た7世紀の町を勉強す る会が大好評であった。 年齢に関係なく、 はじめは公民館主催 今

中に出かけてみようと 年は勉強しよう、人の いう思いを促す町民大 誰もが参加しやすい

> に思うが。。 行政からの支援が必要

例を参考にして、大学 たいと思う。先進地事 名程度の参加があった。 之条町と連携した講座 名の参加。 という形も考えていき は、年4回の開催で30 引き続き行っていき 寿大学は約120 高山村、 中

えているか

めたい。 対応した広域連携に努 の展開や、 た新分野での共同事業 時代状況にあわせ 地方分権に

共同利用に向けた調査・ 当者と電算システムの 検討に取り組んでいる。 今年度は、 各町村担

青柳はるみ議員

スポーツなどの

されていませんが、

生

18億円) は、まだ執行

とも協議をして、

町の

興検討部会や地域住民

八ッ場ダム下流地域振 などの質問が出され

状況説明がありました。 9月定例会以降の事業

ダム本体工事(予算

活再建事業は90パーセ

ントを超え、現在、

J

推進するための具体的 施策は何か。 住民参加型まちづ 住 民の 町 政 参 加を

を検討したい。 くりの手法である、ワー クショップなどの導入 町政懇談会の今後

開催時期や方法などを 検討し、実施したい。 していただくように、 「新年度予算編成につ

給食費無料化の予

多くの住民に参加

いて」

の実施予定は。

か。 算計上を検討している

討課題とする。 上は見送り、 新年度予算への

いを考えているか。 予算規模は、どのくら 中学校統合事業の

クー

考える。

ルバスの乗降場所、 校舎の増改築とス

給食センター 統合後の廃校利用など ない。しかし、中学校 費などの予算化は検討 も視野に入れ、 しているか。 ▲ 予算化は考えてい

今後の検 計

学童保育所建設の調査 坂 上 ・ 岩島地区

円。

駐車場の確保が必要と の建設費などで約10億

 \mathcal{O}

▼土留工事が始まった JR 吾妻線の松谷下組踏切付近

開き、

玉

• 月

県 •

町から

営方法、

12 月 13

委員会を

からは、

便益施設の運 地元との協議

に建設されます。

委員

ルがふれあい公園内

約250平方メー

八ッ場ダム対策

特別委員会

平成25年度に、

便益施

(売店、

休憩施設な

町の事業としては

されています。

国道1 かとの見方から、 事が始まるのではない が替わり、 得ました。 設にしたいとの回答を 活性化となるような施 ハザードマップの検討 45号線と国道 また、 ダム本体工 ダム 政権

土留工事が始まりまし

川原畑大戸線は、

R吾妻線

(松谷路盤)

日

大柏木盛土造成地で止 406号線との接続、

寺沢川合流付近が施工 諏訪神社付近と今川・

などの要望も出ました。 まっている道路の再開

した。 ターうぐいす」では、 体化施設「こどもセン 務局長同行のもと、茨 保健福祉課長、 老朽化した幼稚園を新 城県内で視察研修しま 団 常陸太田市の幼保 教育長、 の中でたくましく 少子化が進み、 教 育課長、 議会事

特区を申

きたために、

育む上で課題が生じて

果として、 的 幼保一体化による効 運営をしてい し平成16 地域の子供 年から一 ます。 体

に同一 体施設が増えてないと 幼保の教員が幼児教育 いうことは、 るなどを挙げています。 歩調で取り組め 市内で幼保一 制度の使

> というタイミングでの ました。 選択ということも感じ 1 勝手が悪 減 少と施設の老朽 い の کر 化

> > 90

人台が続

街

中で一

教育長、 ごまち) を受けました。 翌日、 大子町 役場にて町長、 教育課の説明 (だい

なく保育教育できる。 を保護者の事情に関係

] 人口は2万140 高齢化率は35・ セント、 県下で最 96

で4箇所、

所です。

電

▲常陸太田市での視察研修

の子育てをしていると 保育があり、 いうことでした。 陽だまりにおかれた 害を持った子の学童 する通所支援事業、 み聞かせ運 発達支援に 町挙げて 動

椅子では、バスを待つ

町

Kanaa encra

出生数は平成21年から の町です。 高 齢者が歓談して

ま

要請しました。

い状況

当町と似た状況です。 立で140人定員1箇 町立保育所は45人定員 ことで民間に出し、 立保育園にして、他に 自主経営が可能という まる大きな保育園は、 番子供の 幼稚園は町 いており、 私 集 案を公募し、 発案のもと、 世帯が入居し、 応募となり、 20人の主婦。 要政策に掲げた町

利用しやすい場所にあ が最も必要な人が最も つの建物にあり、 子育て支援の施設が一 のところに小ホールを した福祉協議会と、 車の駅を出てすぐ 支援 です。 11

11月2日、 22 日

ることは感心しました。 この施設を中心に読 き、 営安定化計画、 ました。 席のもと、 町民課、 国民健康保険事業運

増えたことはもちろん、 ある公営住宅の技術提 にアピールできる魅力 消防団員も増えたそう 若者の流 出 若い 3 団 地 34 審査員は 高倍率の 対策 子供が 世代 長 を

ら工夫している自治体 活かしていきたいと思 を視察して、 、ます。 同じ悩みを持ちなが 当町にも

閉会中の調査をし 委員会を開 教育課の 出

説明をしていくことを 合について、 民に対して、 明を聞き、 の適正化と中学校統 各課から 議論し、 学校施 丁寧な

> 行財政改革推進 特別委員会

課長の出席のもと、 員会を開催しました。 町 長、 12 企画課より行政改革 月 総務課長、 12 月 町

長

副

ないかとの意見も出さ

れました。さらに、広

企画 委

> 広域でできるよう働き 域行政でできるものは

たほか、 それだけにとどまらず る諮問内容「いわびつ り方検討委員会におけ 部会の検討方向の説明 推進本部の会議経過や、 てもらうとのことです。 全般にわたって検討し 荘の指定管理」では、 事業評価 の説明があっ 公共施設のあ

基本的にはまだ国の方 針が定まらないため、 園の問題について多く の質疑がありましたが、 ている保育所とこども 施設部会や行革本部 数回にわたって行っ

いのが現状である

ては、 中心になって行って 会も検討するべきでは ない状況とのことです。 事務事業評 第三者評価委員 現在は各課長が 価に うい

がありました。 かけるようにとの意見 公共施設のあり方検

望が出ました。 委員に対し、 今回新たに委嘱された 討委員会に関しては、 ながら進めることの要 討内容や経過をつなぎ 過去の検

では、 いに対 務量の計数化ができな 月定例会には提出。 出されないのかとの問 決まる平成26年まで提 わびつ荘の指定管理が いとなかなか議論がで 職員定員適正化計 l 提出 日の時期が 予定では3 いでは、 が 画

は出

せ

町としての方針

受け止めてほしいとの を問いました。 地選定の見直しについ 意見が出ました。 委員会の意思を真摯に 対する町執行部の姿勢 給食センター 委員会での また、 表決に -の候補

らなる開示を求めまし 断するためには情報開 われる問題なので、 示は不可欠なこと、さ 業だから失敗は許され 数億円以上かかる大事 中学校統合では、 議会も責任が問 判 10

況

開催 提供と説明を受けたの 5人の課長から、 12 月 12 町民課長含め 月 意見交換を 委員会を 資料

ンター

の焼却炉での焼 東部衛生セ

0

いては、

主な説明内容は 次 0) ○幼 却が可能になり

とお

との答弁がありました。

いました。

 \bigcirc ○放射線量 除染計画区 \mathcal{O} |域内の除 測定状況

染実施状況 改修工事概要 \bigcirc モニタリングポスト

補助金の執行状況 ○放射能測定器貸出状 低減対策特別緊急事業 〇平成24年度放射線量

の日は、作業員は、

何

測 ○走行サーベイによる 定

償 ○東京電力への 損害 賠

15箇所の観測と部

分

全検査 〇米・大豆 • そばの 安

○放射性物質検査

汚泥肥料の放射性物質 〇水道水·下水道汚泥 0 測定

る基準値以上の肥料に 処理場内に保管してい \bigcirc \bigcirc ○今後の処分方法 求・入金状況 東京電力への 汚泥処理方法) 賠償金 (各

> 果とスポット除染、 の空間線量測定結 小学校・中 ました **今**

意見 測定とスポット除染■ \mathcal{O} 後の測定・ ■教育施設の空間線量 回答は次のとおり。 主な意見や町執行部 除染実施日以外

業として2名体制で作 回答 をしているのか。 業している。 緊急雇用対策 事

河川によっては釣っ

都度、 的に高いところはその 除染を行っている。 土のう袋を使い

意見 されるべきではないか。 辺の測定や除染が優先 て影響がある、遊具周 子供たちにとっ 遊具周辺の数値

作業をしなかったと思 が低かったので、 についてどう考えてい 冬休み中の作業 除染

> 実施した ろを中心に除染作業を 回 Y 答 数値 ... が 高

る

0

か。

誌を目指すことが大切

■農林水産業

値超えとなっている。 12検体中5検体が基準 うなっているのか。 影響はどうか。また、 回答 クマ、イノシシ 漁協関係についてはど 意見 獣肉についての

るが、どのくらいの数 基準値以下となってい 値だったのか。 の安全検査について、 意見 米、

回答 ベクレル。 ベクレル、そば5・8 米21ベクレル、大豆15 基準値以下の数値は、

月1回実施している。

学校給食の検査も毎

回答 意見 ■東電賠償請求

た魚を放流している。 大豆、そば

学び、

午後は、

広報ク

した。

再確認をする研修会で なる編集指針を改めて、

午前は、広報一般論を

ルタントの深沢徹氏で、

講師は、

広報コンサ

るべきではないかとい 員会としての組織であ 委員会ではなく常任委

った提言がされました。

広報づくりの原点と

国の安全検査の

ため、 ると聞いている。 た段階で疑義があった いが少ない理由は。 当初申請があっ 畜産関係の支払 慎重になってい

本とする住民

参加型の広報

議会広報対策 特別委員会

常時、

議会広報誌を発

が叫ばれる現在では

であること。

るとすれば、

議会の中

している委員会であ

位置づけとして特別

催されました。 村議会広報研修会が、 市町村会館において開 11 月 27 H 群馬県町

リニックとし 実際に発

げて、 受けました。 のは何か。 報誌を取り上 町村の議会広 行している2 求められるも 「ありのまま 議会広報に 分かりや 住民と 診断を

ともに」を基

一民のみなさんと意見交換

町内5会場 報告会を

8、11月の4、5、7、 名では議会報告会を開 会では議会報告会を開 は一き、町民のみなさ 出向き、町民のみなさ が地域に について説明し、意見

にわかりやすく、開かれた議会の実現を目指れた議会の実現を目指して、議会の活動や仕して、ではについて理解していただくことが目していただくことが目していただくことが目し、94人が参加しました。

中学校統合関係

平成24年度議会報告といた貴重な意見や要望れても検討、協議をおいても検討、協議をおいく予定です。

会の結果(記録)については、議会ホームページで公開しているほか、がでは、議会ホームペースがでかける。

エな質疑応答

; ; ;

問 当町では正式決定 (条例の改正)がない まま、統合の準備を進 めているが問題ないか。 民に対し十分な説明を 民に対し十分な説明を では、校舎の増改築が では、校舎の増改築が 必要になる。増改築を

> 答 生徒数の推移によると、平成35~36年ごろになれば、増改築は必要なくなると考える。 が要なくなると考える。 が要なくなると考える。 がでがした議員は、平に反対した議員は、平に反対した議員は、平に

答 個々の議員の考え が表ので分からないが、

平成21年度の

町

アンケート結果では、 統合反対が多かった。 をしていないのに、 をもしていないのに、 が合に賛成者が多いと がらのはどうして分か

答 町執行部の方針で

10月26日以降、

東

いるのか。が得られたと、町執いが得られたと、町執いが得られたと、町執い

答 理解が進んでいる 部分もあるが、町執行 部の努力不足と思う。 間 議会として12月定 例会までに、町執行部 に説明を求めたり、議 論を深めたりする手段

答 校舎増改築の費用

問 東日本大震災復興 対策特別委員会は設置 されているのに、同じ く重要な学校統合につ いて、特別委員会が設 置されないのはなぜか。

ないことになった。審議により、設置され

給食センター建設関係

問 給食センターの問題についても、説明不好でないと思うが。
切でないと思うが。
切を負会として、意見別委員会として、意見別委員会としての問

され ている。

問 給食センター建設 出る費用は。

▼ 給食センター建設候補地となっている旧岩島第一小学校



その予算の一部が執行 ないで、 されているが問題ない である。 条例改正がなされ 設計の契約や

承認している。 当初予算を議会は あくま

> で執行権限の中で行っ いると思う。

> > ぱいになったら、

を設けておき、定員いっ

的に判断したとのこと

有害鳥獸対策関係

条例では、駆除実

施隊員が120名となっ ているが、その根拠は。 現在、 猟友会員が 30名弱の枠

91名おり、

ばかりと思うが、 用はされていない。 ているが。 処理方法がないと聞い 免許を受ける手数料が 補助対策は。 くなり、鳥獣が増える を改正する。 現在、 猟をする人も少な ワナについては、 イノシシの食用利 セシウム濃度が高 町の

原発事故による放射能

町から補助される。

ロシーベルトが一つの て、 ていると思う。 基準値で、数値は下がっ ているのか。 、測定の数値は下がっ 毎時 0・ 放射能汚染につい 23 マイク

る。

理場の汚泥が、

は不検出。

ベクレル以下。

0

0 いるのは、 ベクレルを上回って 下水の汚泥が20 何箇所かあ 地 問

農業集落排水の処

ている。

議会としての

されていないのが現状 かないことで、 ているが、 特別委員会では、

の事業がストップし

ッ場ダム対策関係

計において、 平成24年度一 議会費、

ベクレルを上回ってい 公共下水は200 上水道 2 0 0 工事が始まらないと動 工事再開の申し入れを ダム本体 対応が

▶ ストップしている大柏木盛土造成地関連の道路整備

大柏木の盛土造成 である。

> いるが、 伴うもの。 議員年金制度の廃止に 商工費が大幅に伸びて 査する。 議会費の伸びは、 理由 商工費は調

集中改革プラン関係

臨時職員158名。 時職員の数は。 スパイレス指数は8%ぐ イレス指数は。 正職員221名。 町 の正規職員と臨 ラスパ ラ

理にする方向で進めて 26 も良いのではないか。 センター、 ついて、 年4月から、 いわびつ荘は平成 いわびつ荘、 町営でなくて 天狗の湯に

防犯関

あるが、費用は町負担 ていくということで 電気料金はすべて 防犯灯をLED化

管理、 町負担になるの 町負担という方向であ 最終的には、維持 電気料金すべて

る。

うか。 問 見れば良かったと思う。 受けた。そのことから 例債に伴う優遇措置を た。議員としてどう思 財政的には合併特 町村合併が行われ

いて、 で可決した。 の企業誘致奨励金につ バイオマス発電所 本会議で賛成多数 議会の対応は。

地球温暖化対策関係

問

町で取り組んでい

る森林フォレストック

事業とは。 平成23年度から取

出

売することにより、6 収量を製造業などに販 町有林の二酸化炭素吸 り組んでいる事業で、

組

待されるというもの。

信 都 市計画事業および上 車道建設関係

いか。 というのが常識ではな 路のルートは山の中腹 在 問 7 いるのか。 の状況は、 都市計画道路の現 どうなっ 高規格道

格道路の線形に重複す 問 明会などを行うと思う。 ので、段階を踏んで説 された。影響が大きい 都市計画道路と、 画に見直しの指導がな る部分があり、 町が計画している 上信自動車道は、 町の計 高規

答 会としての取り組みが 薄いと思うが。 るにもかかわらず、議 関係地域が広範囲であ 要望があれば、 要

会の中で審査して取り 望書を町長、議長に提 んでいく。 いただきたい。 定例 る。

議会運営関係

00万円ほど収益が期

問

議員定数は削減さ

▼上信自動車道の整備が計画されている松谷交差点付近

対して、 れたが、 いるか。 査などは十分なされて 審議、 町政の運営に 視察調

研修などは実施してい 出ていると思う。視察 答 定数削減の効果は

公開するとあるが、 ると、すべての会議は 議会基本条例によ 町

か。 努力は、 民の参加意欲を高める

問 答 検討していく。 したが、努力が足りな 者が少ないのはなぜか。 毎戸チラシを配布 効果が上がるよう 議会報告会の参加

に載せるだけで良い ホームページ 0

かった。

統合について発言があっ か。十分な時間をかけ ・平成26年4月統合で 置き去りにしないでほ 進捗状況の説明会を開 中学校統合関 たが、議会でもよく議 て議論してほしい。 くよう要望してほしい。 な説明資料をつけて、 統合は東地区だけを 教育長から小学校の 町執行部に時系列的 準備不足ではない

事への影響を教えてほ 試算を示してほしい。 論してほしい。 ・統合にかかる経費の 統合による地区の行

関係にひびが入らない ターをつくるというが、 賛否両論ある中で人間 ・矢倉地区に給食セン ようにしてほしい。

意見 学となると、子供たち 危険箇所のチェックや にとって負担も大きい。 ・スクールバスでの

主な要望・

てほしい。 改良を願いたい。 よう、十分に対策をとっ ·保護者、 て学校生活が送れる 生徒が安心

てほし 員の配置を真剣に考え ちをくみ取ってほしい。 を知らせ、 足りない。 ・町民に対して説明が 統合に際して、教職 もっと情報 町民の気持

ちを、 に育んでほしい。 地域の中で子供を大切 たちも分かってほしい。 を大切に思う親の気持 ために良くない。子供 性急な統合は子供の 議員や地域の人

地域の人たちと一緒に なって議論してほしい。 通学問題は、 議員も

社会教育関

町組織から抜けたため、 補助金が受けられなく 東地区の婦人会は、

通

太田 幼 稚 園 0

ほかの ールル ジに載っている なども 会議. 磁録とス

本会議の会議録はホ



来年 广保育所 度 から 運営関 延 長保育

岩櫃城温泉センター

見直

検討を願

議会および議会報告

学校行·

重

今後 事と日

は

配 程 慮が ちに影響があるの

坂上

地

区の子供

ていくの その 長に 行 推 つい 政 政区および! 進を要望す て条例をつく 行 |政区

今後どうなっ

総括して住民に

今どうなっ

いるの

流の浸食防止につ

いて、

イオマ

ス発

所 か

関係

する大泉寺

Ш 寸

の地上に

植栗

地

区

畜

産

ってほ 反 次映させる 人たち せるようなプ \tilde{O} 意見

П

なっ

この

題

t

は、

成

18

てい、平

会で議論して

ほ 問

され

る。

実 年

施

す方向で を福 してほ け 温 泉セン 祉 でイベント 拠点として位 利用 い。同センター て を

議員研修会に参加

10月18日 「あがつま」を学ぶ

吾妻郡町村議会議員研修会が、中之条町ツイン プラザで開催されました。

「あがつま」という演題で、県立女子大学群馬 センター副センター長の熊倉浩靖氏より講演を受 けました。

吾妻郡の由来から始まり、人口6万人の中小都 市としての機能点検、資産・課題はいかにして地 域資産となるかについての点検。提案として、こ れからの「あがつま」の行政課題の中心は、社会 基盤整備、推進には県の力が不可欠で、県を構成 員とする広域連合を真剣に考えたらどうか。そし て、あがつま広域連合の目的は観光基盤整備であ るといったことでした。

吾妻郡全体のあり方について改めて、考えるこ とができました。

10月24日 住民自治、防災を学ぶ

ことを議会に要望する

群馬県町村議会議員研修会が、吉岡町文化セン ターで開催されました。

「住民自治の向上と議会改革~『住民自治の根 幹としての議会』を創造する~」と題して、山梨 学院大学法学部教授の江藤俊昭氏の講演と、「想 定を超える災害にどう備えるか~東日本大震災か ら学ぶ、群馬県の災害特性と対策~」と題して、 群馬大学大学院工学研究科教授の片田敏孝氏によ る講演でした。

前半の江藤俊昭氏の講演は、地方分権時代に地 方議会が求められる課題や、議会の活性化などに ついてでありました。

後半の片田敏孝氏は、釜石市で行ってきた防災 教育と東日本大震災での体験をもとに、これから の防災教育のあり方、災害への備えのあり方、考 え方を具体的に提案。災害への危機管理対応、災 害情報伝達、防災教育、避難誘導のあり方などに ついて講演し、地域での防災活動と、これからの 防災行政の推進などを学びました。

いずれの講演とも、今後の議会活動をする上で、 参考になるものでした。

発

まちの声

「都会から ふるさと東吾妻町を想う」

塚田裕介さん (原町出身 東京都杉並区在住)

東京に出て14年。盆暮れ正月、祭に帰郷し、 家族、仲間と過ごしております。

東京では同郷の仲間と町の思い出、町のこれ からについて酒を飲みます。

まちの声のお話をいただき、居酒屋で語り合っ たことを書かせていただきます。

1. 東吾妻出身者が離れた土地から町を想う思

町を離れた者は、町を誇りに思い、寂しくし たくないと思っています。

他の地域と比較しながら、発展を願い、町を 積極的に分析しています。他と比較して東吾妻 町の可能性はどこにあるか?何が足りないか? そんなことを話します。自然が豊かだ、地域コ ミュニティーがある、知らない名所はどこだ? など。美化しすぎる傾向がありますが、町のい いところを語り合い、必ず「じゃあ、どうすれ ばいいか?」とアイデアを肴に酒が進みます。

「都会にはできないこと」を探しています。

2. 都会にいながらにして町にできることはな いか?

東吾妻を離れた者は、経験値を活かして何か 役に立てないか?と大なり小なり思っています。 町で買い物しよう、インターネットやメール でできる範囲で役立ちたい、直接動いて支援し たい。各自、できる範囲で貢献を願い、機会を待っ ています。

町を離れた者が、町に想いをはせています。 ぜひ、東吾妻の地でこういったアイデアを語る 機会がほしいです。ほかの方の意見も聞いてみ たいです。町のために動きたいけどどうすれば? そんな人たちが集まり、地方と都会のハイブリッ ドで何かが生まれるのではないでしょうか。



議会を傍聴して みませんか

次回の定例会は 3月5日開会予定

議会の会議は、特別な場合 を除き公開されています。

傍聴の手続きは、役場3階 の議会事務局で受け付けてい ます。

所定の用紙に住所、氏名、 年齢の記入をお願いします。 持っていただければと せすることで、 ではの でいただいたご意見を 通じて皆さまにお知ら されたことを、 ること、その地域なら 面の許す限り載 課題について話 町全体にかかわ 広報を 関心を せま

今回は、議会報告会 皆さまが健やかな一

康になっていく本年

干支「巳」のように

方に感謝です。 早朝やってくださった に見られるな」という に雪かきがしてありま 言葉があるそうですが た。「雪かきは、 通学路はもうすで な行 て誇りに思います。 脱皮しては成長し、

受賞した山中教授は、 れています。 策の迅速な執行が望ま 交代となりました。 昨年、 暮れの総選挙で政 減災、緊急経済対 ノー 防

大寒波による大雪

した。 「まだ一人の命も救 ぐに研究にもどりま いない」と、 動は、 この誠実で真摯 日 本人とし 受賞後

新年のお慶びを申



報委員

青柳はるみ

ありますように。